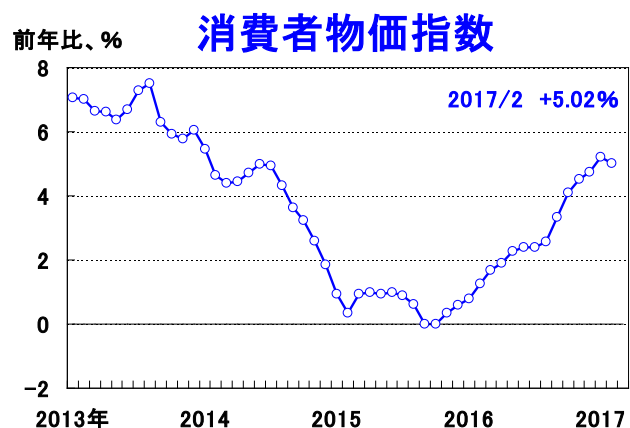
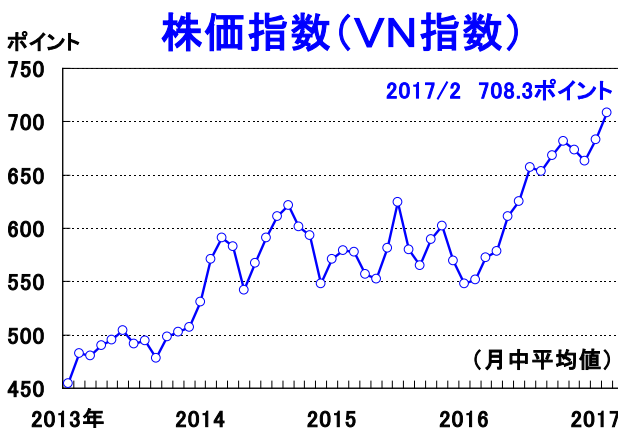
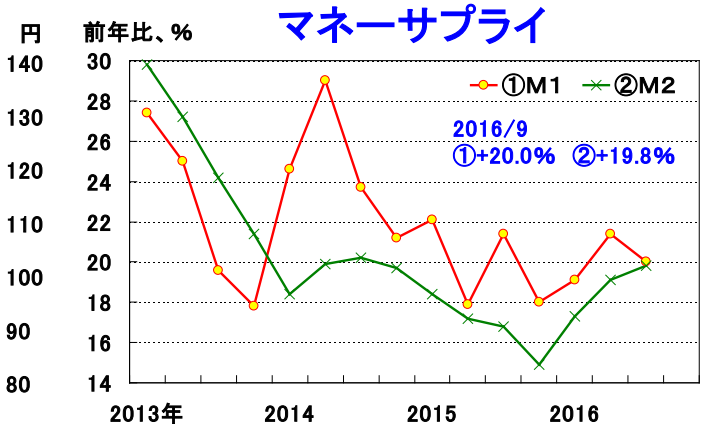
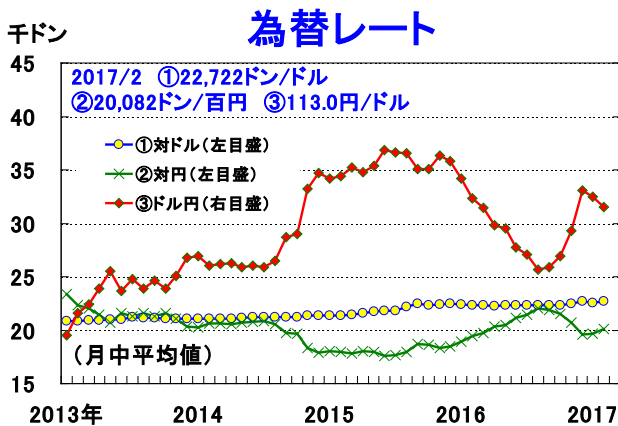
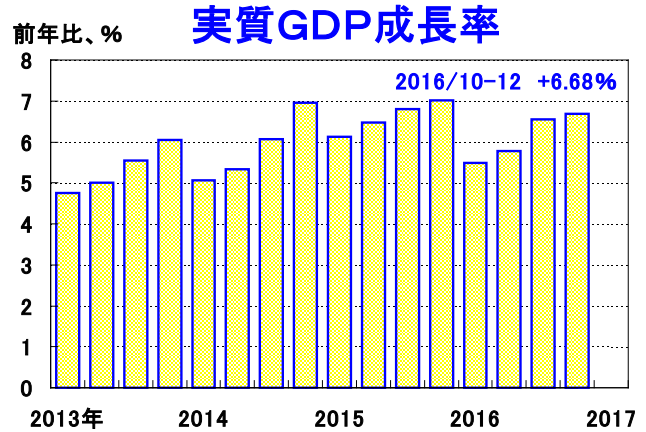
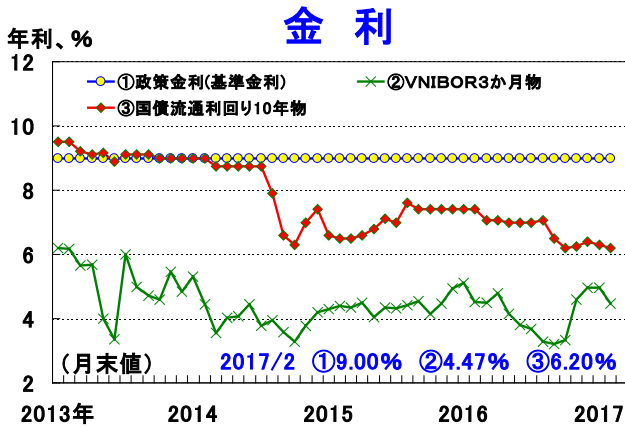


# グラフで見るベトナム経済 2017年3月号(No. 86)

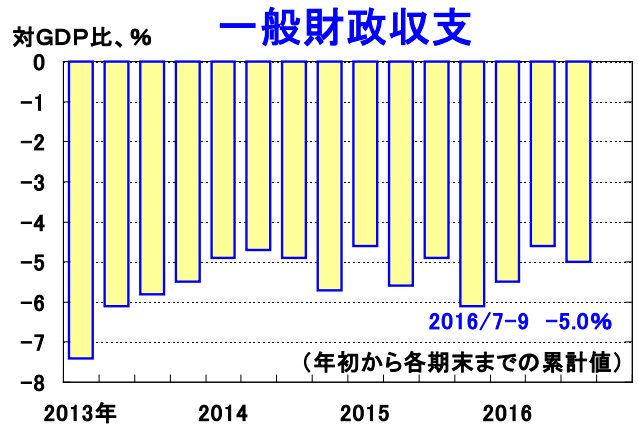
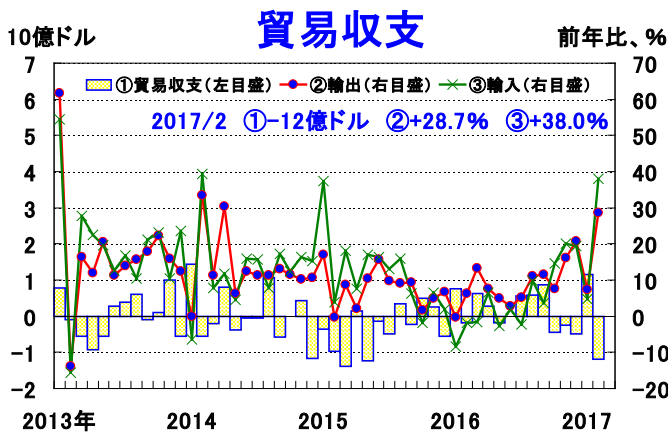
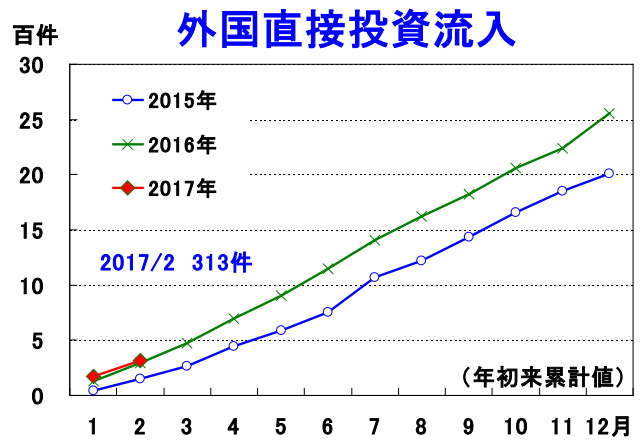
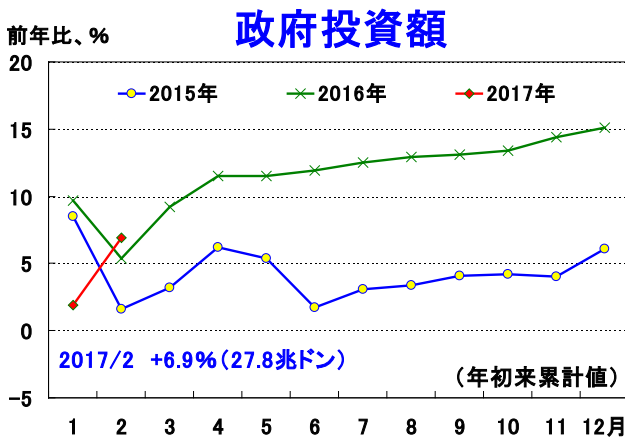
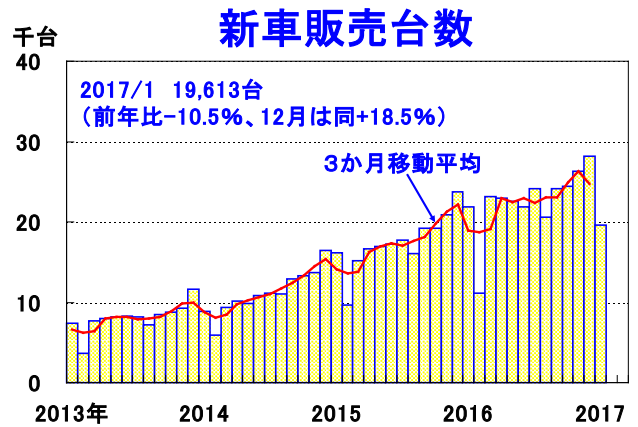
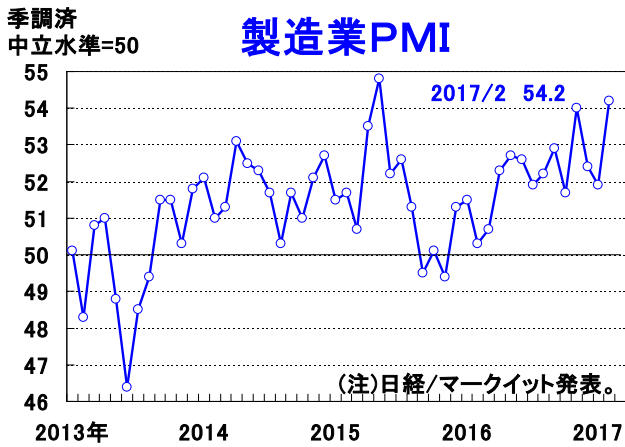
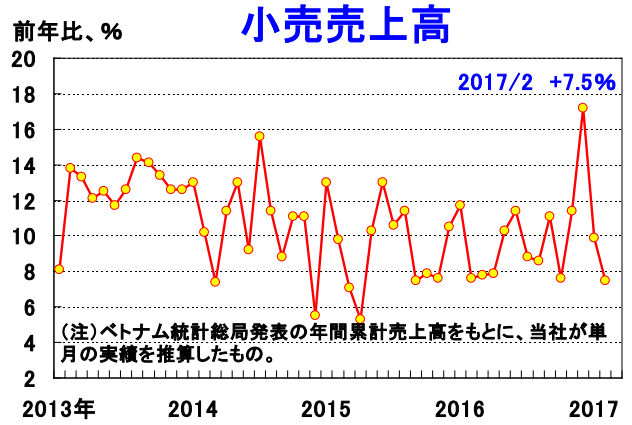
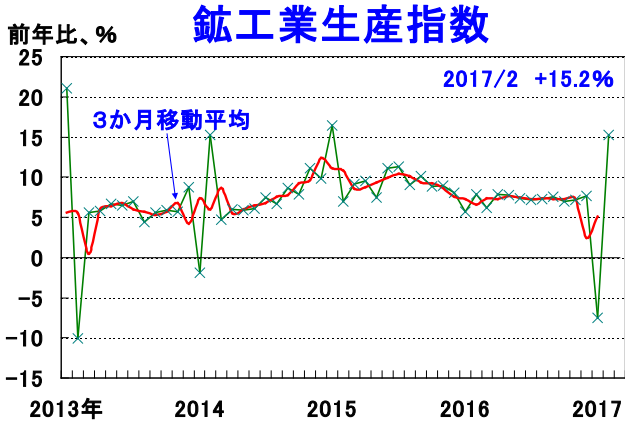
ベトナムの直近の月次指標をみると、今年の旧正月(テト)休暇が1月から始まった(1月26日~2月1日、昨年は2月6~14日)ため、企業活動に関わる数字は強まった。すなわち、2月の輸出が前年比+28.7%と3年ぶりの高い伸びを記録し、鉱工業生産も同+15.2%と25か月ぶりの強い増勢となった。同月の製造業PMIは54.2(中立水準は50)と21か月ぶりの高水準に。一方、家計部門では、1月の新車販売台数が前年比-10.5%と2013年3月以来の減少に転じ、また2月の小売売上高も前年比+7.5%と2015年9月以来の低い伸びとなった。



**【今月のトピック: 首相がエビの輸出の目標達成の前倒しを表明】** ベトナムのグエン・スアン・フック首相はエビの輸出目標である年間100億ドルの達成時期について、現行計画の2030年を2025年に前倒しする意向を表明した。2016年のベトナムのエビ輸出は31億ドルであり、首相の発言はかなり意欲的である。政府がエビの輸出に改めて注力し始めた背景には、近年、メコンデルタ地域で海水侵入の被害が拡大していることがある。海水侵入により農地が被害を受けるなかで、養殖エビがこれまでの稲作に代わる産業として期待されている。

(出所) ベトナム国家銀行 (SBV)、ベトナム統計総局 (GSO)、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。



(出所) ベトナム統計総局 (GSO)、ベトナム自動車工業会、ベトナム国家銀行 (SBV)、IMF、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。